

# みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成29年7月13日(木)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 山川文化ホール
- 参加者数 : 【市民】55人【市職員】市長ほか15人【総計】70人

## ○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 市職員自己紹介
- 4 鹿兒島湾を震源とする地震発生について
- 5 意見交換
- 6 地域代表あいさつ
- 7 閉会

## ○ 意見交換の内容

### 【市民】

やまがわ子どもクラブは昨年度より地域のボランティアの方々の助けにより活動ができました。それまでは、山川小学校区と利永小学校区だけ指宿市内には学童がなかったのですが、皆さんの地域の支援の中でそうやってつくることができました。さらに、昨年からは、指宿市行政の方の支援と補助金により今年度から支援員さんを雇うことができましたが、このような支援は、幼稚園のようにずっといただけますでしょうか。

ボランティアさんに頼るだけでは、長年続けていくことは不可能だと思うので今後も支援をよろしく願います。

### <市長>

子育てというのは、両親が安心して働くためにはとても大切だと考えています。

児童クラブにしても、放課後児童クラブにしても指宿ではまだまだ他の地域と比べ充実していません。

是非この地区がモデルとなって、山川地区が本当に子育てのやりやすい、安心して働けるモデル地区として、支援をしていきたいと考えています。

### 【市民】

福元分団の詰所がだいぶ古くなって、内装の壁が手で触ったらポロポロ崩れてくるくらい古くなってきていて、市内を順番に整備をされてきていると思うのですが、福元分団と同様に町区分団の詰所も古いと思うので、状況も見てもらえたらと思います。

### <総務部長>

去年は浜見ヶ水の分団車庫の整備、今年は徳光の分団車庫を整備するということで、今年は土地とその設計をするということで2年2年でやっていっていますが、古いところ、異状があるところを優先してやっていきたいと思えます。

今後その状況をみて判断をして、逐次改修をしていきたいと考えています。

【市民】

地熱の恵みの創生事業について、国の方で予算を組んで世界に通ずる露天風呂にということで、地方創生事業で計画を立て議会等にお諮りしたんですが、反対をされて結局凍結になっているところです。

指宿市からお金を出すのではなくて、国のお金でそれをやってくれるところだったんです。

1,500m掘削すると、500m掘削して温泉を利用している方々が枯渇すると。結局そういうことはなかったということで、その後、業者より詫言状まで市に出されています。

議員の皆さん方はどういう責任を取ってくれるのかと、私は思っているところです。

こういうことでは、市の発展は何もできません。世界に通ずる温泉や露天風呂ができたら、どれだけの集客が見込まれるのか計算ができませんが、指宿市の発展に繋げ、いろいろな産業、農業ということについても活用できるという風に話を聞いていました。今凍結されておりますが、凍結を解除できるでしょうか。

<市長>

今朝の朝日新聞に、最近の政治の流れとして、フェイクニュースという、違うことを事実みたいに言ってそれが信じ込まれて、情報を鵜呑みにして判断するというものが大きく一面に載っていました。

反対の理由として、地元の温泉業者の泉源が枯れて1,200万円かかって大変だった、生活ができないといって大変な悩みだった。メディアポリスが地熱に取り組んだ3年前に枯れた泉源について、地熱と関連付けられました。また、硫酸やヒ素を使うという情報もありましたが、一つも使っていませんでした。

そして、影響があるということで、議会では反対ということになりまして、提案した市長として残念でしたが、議会の判断は議員の方々の判断でしょうから、1人の議員には、投票してくれた方々がみんな後ろについているという判断で私は尊重したつもりです。

この事業は、100%の補助事業でした。来年しようとしたら100%は出ません、3/4しか出ません。

山川地区、開聞地区はこの基金で地域を振興しようという、地域振興基金にしたいということでした。

西大山駅からたまたま箱温泉まで畑の中に遊歩道をつくったり、自転車が走れるような歩道をつくったり、観光農園をつくったりすると、観光客は喜ぶかもしれない。たまたま箱温泉からフラワーパークを通過して長崎鼻のあの景観の遊歩道がもしできるとしたら、山川は変わるよという話もいたるところでしました。

その事業としてできる可能性というのは十分にあったわけですが、議会の議決をやはり尊重しました。これをどのような形にするのかというのは、その時点ではっきり私として表明できなかったために凍結としました。地元の理解、そして議会の理解、そしてあの反対の主な内容が違ったなということでお認めいただければ、再度議会に提案をしたいと思っています。

この地熱の恵みは農業にも利用したかったのです。農業生産に、ここに団地を作って、ですから農家の方も農協の方々も見に行っただけです。

それで雇用も生まれる、年間の生産額が増える。漁業にも使いたかったのです、養殖漁業に。

これからは、かつお節一本ではやれない、漁獲量の変動したり、中国との競争になったり、特に今の漁協の若い人たちは、かつお節でずっと生きることは難しい。

指宿食品がきて、現在8億円売り上げております。漁業、加工組合のためにもどういことができるかということをお早くみんなで話して、共通理解ができれば、それをやらなければならないと思います。

地熱でできないなら、温泉熱を利用してでもそういうことはできるだろうと思っています。

山川というところは漁業、農業です。そしてこれに観光3つの矢が一緒になったら、ものすごく強い地域になるだろうと思っています。

<市長>

山川を元気にするためには港が頑張らなければいけません。港がこんなに元気になるために、漁協の方々が頑張ってくださいました。何回も政府にも総務省にも農水省にも行きました。事業が決定したときに、「よかったですね、市長」と電話があったので、「私じゃない、漁協の人たちの想いが通じたのだ」とお伝えしました。「漁協の方々はすごいですよ、加工組合の方々が頑張っていますよ、だから、山川をよるしく」と言ったら、山川に向ける目というのは変わってきました。

今後、漁業を、港をどうするのか、荷捌き場もあのままではいけません。岸壁も港もあのままではいけない、これから数十億かかると思います。昔の山川の賑わいを取り返さなければならないと考えています。

【市民】

今後5年、10年、15年、20年先を考えたとき、漁業単独ではなくて、観光業、農業、異業種とのコラボというのでも考えなければいけないのではないかと考えているところです。

今、鹿児島島のマリンポート等に大型観光客船等が頻繁に出入りしているようですが、なかには、その方が指宿、南薩の方に来ているということも伺っています。そういう船が付けられるような岸壁を整備して、鹿児島島に入ってから指宿に来るのではなく、直接指宿、山川に入ってくるような岸壁等の整備を今後も継続して考えていかないといけないと思うのですが、どのようにお考えか教えていただきたい。

<市長>

指宿港の海岸を整備する際、あの一角にレジャー船とか入れるようなのはできないかということで、今、国と話をしています。山川港で一番大切なのは、港に安全で安心して入れるような水の深さ、岸壁の整備をしなくてはならないのです。

<産業振興部長>

今のところ、浚渫を9mにするということと、常時2隻入れるような形で、その岸壁工を90m伸ばして270mくらいにしたいと考えています。

<総務部参与>

山川港は県管理の漁港ですが、負担金として1億円ほど余分に3年間かけて浚渫工をしています。総事業費は県が約8割、指宿市が2割、事業としては相当大きな事業で、あと2年かかるような形で工事をしています。今後9m岸壁を延伸する予定ですが、大型客船は9mでは入れないかもしれません。

一番の問題は、客船に係留するロープを巻きつける名前は分からないですが、そこがそもそも客船用の仕様にはなっていません。しかしながら、中型クルーザー等については、十分入れるので、県の方に以前相談をしたところ、乗客が安全にタラップを降りられるようなものであれば県としても許可をしたい旨の回答があったので、9mの浚渫が終わった後には観光の面を活かした形での誘客を今後は進めていくべきであろうと考えています。

<市長>

山川の地域振興の核になるのは港と農業だと思います。指宿食品がここに出て8億売り上げました。これから工場を拡大し、極洋水産は雇用を増やして10何億の目標を持っているでしょう。しかし、漁協と加工組合と一緒に頑張って極洋水産とかニッスイとか日本を代表する会社と、山川をどうするのかという絵を今描かないとダメだろうと思います。

そこに、黒潮に乗ってくる観光客を山川に降ろして、山川をどうするのか。さっき言ったように「山川は昔こげん賑やかでなあ」、昔を語るだけではいけません。夢があるとしたらやらなければいけないのです。冷凍庫もそのままじゃダメだと思います。荷捌き場も高度衛生管理型にしなければなりません。漁協の方と石巻とか堺に行きました。その市長と会っていろいろ見て、漁協の方が、「よかったですなあ、こんなのができればなあ」とおっしゃっていました。

やはりそれを夢で終わらせたいからやりましょうよと、今、組合長と言っているのです。

ですから皆さんの力が欲しい。荷捌き場も、新しいところができたら、港の見えるようなところで、ホテルの宿泊者はここで新しい新鮮な魚を食べる。夢みたいではありませんか。それをやろうとしています。大きな予算を組まないといけません。

「山川を何したか市長」と怒る人がたくさんいらっしゃいますが、見ていていただきたい。新しい事業をやろうとしています。消防車庫も作ろう、新しい消防車も入れようということで、山川地区にはたくさん入れました。

山川の人たちの強い熱い思いに応える、それが行政だろうと思っていますので、是非皆さんとともに頑張りたいと思っています。

#### 【市民】

墓参りのための観賞用菊の生産を少なくして、蚊取り線香用の原料となる除虫菊の生産を増やしてはどうかと思います。製造工場の誘致とまでは無理かもしれませんが、世界中の人たちが日本の蚊取り線香文化で助かっていると思いますので、指宿市もそういう方向性を考えてはどうかと思います。

<市長>

農業の形態が変わってきて、花の生産者が少なくなりました。オクラにしたり、何にしたりそっちの方にいきました。山川は、花にかけては県を含めて有名でした。除虫菊を含めて、花農家を支援しないと花農家だけではやっていけません。農業の形態が変わってきたとすれば、そこで行政と一緒に頑張って頑張れるような仕組みをつくるのが重要だということですね。

山川高校の卒業生が、「よし、ここで花を作ろう」「卒業したら山川で頑張ろう」という人がいたら、もし山川に残って農業をして花を作って、結婚して子育てをするという子がいたら、車を1台タダでくれても5年したら元を取れるだろうと、そんな話もしました。そんな魅力的な地域にするためには大胆な施策も打たないといけません。しかしそれは行政だけではできません。「あなたはこうしたらできると思いますか」と、一緒になって考えてやらないと、市民の理解、議会の理解がないと、どんな事業をうっても、反対では困りますが、そういうことが私の2期目の市政の中ではありました。私の力量不足であったのかもしれませんが、そこを反省しながら次どうするのか、私は真剣に今そこを考えています。

漁協とか加工組合の若手とかその人たちと膝を付きあわせて飲みながら、こうだ、ああだと言って本音で語るような場を是非作りたいと思います。

#### 【市民】

山川庁舎を新築すると2億円かかるとお聞きしているのですが、この文化ホールを改築して山川庁舎をここに置いたら1億円はかからないんじゃないかと思います。

1億円余りますので、余った1億円で山川図書館のところに、カット野菜を生産あるいは研究するような施設を作って、ただ作って品物を売るだけじゃなくて、付加価値を付けて売る。山川は1年を通していろんな野菜が生産されていますので。あくまでも私の意見です。

<市長>

現山川庁舎は耐震化ができていないので、改修はできません。

石巻の市役所に行くと、1階はコーヒー屋、帽子屋、洋服屋が入っていて、2階以上が市役所になっています。

山川庁舎について、皆さんはどう考えるか、どうしたらよいかを話し合う場を今作っています。そして、最終的には市長である私が決めなければなりません。退路を断って決断しなければならないのです。各庁舎について、15項目ぐらいの要望を私のところに持ってきたので、「やれ」と言いました。「役所を作るな」と言いました。色んな人たち

が「こんな庁舎を」という、今までにない発想で作ってくれ、提案をしてくれと言ってあります。

<山川支所長>

山川庁舎等建替等検討委員会というところで、議論を進めています。できれば年内に、遅くとも年度内には、庁舎をどうするのかという方向性を示して平成 30 年度、平成 31 年度くらいには完成までこぎつけたいと考えています。

現段階では結論は出ていませんが、今の意見も検討会には出ているので、検討を進めていきたいと考えています。

<市長>

平成 31 年度には建設を始め、平成 32 年度には完成をさせたいと考えています。

予算はそれまでは 250 億、240 億ですよと書いてあることに対して、「市は大丈夫なのか」との意見もありますが、大丈夫でないことをするはずがありません。平成 32 年度は合併特例債活用最終年度です。合併特例債というのは、合併をした市は事業をしたら、有利な借金ができるというものです。

<総務部長>

事業費 100%のうち、95%が借金でき、70%が国から交付税という形で交付されるので、約 1/3 弱でできるというものです。

<市長>

平成 32 年度までにしないと、それ以降は相当財源を自分のお金から出さなければならないのです。

予算が 240 億、250 億と増えた理由は、有利な事業ができるからやりました。これまでは、180 億くらい使って、これからも 100 億を超えたいと思います。

そのような事業をやることによって、「今やったからよかったね」という事業をやりたいと思っています。

<副市長>

先ほど地熱の恵みプロジェクトの話について、その中の 1 つに農業への応用で、地熱の熱を活用して乾燥加工場を作ろうという案がありました。

大消費地では乾燥野菜、乾燥フルーツというのが人気になっていて、市ではそういった乾燥加工場施設を検討しています。

<市長>

捨ててしまうようなオクラのパウダーを作って、国の事業を使ってそれが売れるようになりました。

儲かると、農家も魅力があります。若い人も「農業をしたらこんな風に生活ができるのか」といって喜んで農業をするかもしれません。「農業は大変、台風が来たら雨が来たら大変だ、親の苦労を見るとしたくない」と若者はそう思っています。儲かる農家になるとやはり頑張るだろう、儲かる漁業ができると、儲かるかつお節工場ができると。

地熱の恵みプロジェクトは、形は変えてもやらなければならないと思っています。

【市民】

庁舎については委員会の人で決めるとなっていますけれど、住民の声って反映されるのでしょうか。山川庁舎について、庁舎の場所は委員の多数決だけで決まってしまうのでしょうか。

津波が来たら逃げるところも必要なんじゃないでしょうか。そのとき、庁舎が防災拠点になっていたら助かります。

【市長】

山川地域の大きな課題だと思います。私はこう思うという意見を聞かせて欲しいです。

【市民】

小さいときからここに庁舎があって、何かあったらすぐ駆けつける場所でした。それが移動するとなると、非常に不都合な面が多く出るんじゃないかな。南海地震も想定されますと、庁舎を作るのであれば、駆け込み場所である必要があるという風に考えています。

漁協としては、数年前から漁協一本ではダメだろうと、水産と観光という方向で行こうという方向で進んでいるなかで、多目的岸壁はどうかと若い連中と話してきました。今の岸壁から数m出すだけで 20m、30mより落ち込むところがあるんですよ。そうすると数万トンの観光船が横付けできる。岸壁を作ることによって、単に漁協だけでなくほかのも、災害のときにそういう船を付けることもできると思っています。

【市民】

県の代表として様々な研修を受ける機会がありまして、どこに行っても防災、減災というのが一番に出てくるのです。

各地域で、女性が避難所で働くときの研修ができないかなと思っています。地域で核になる女性5人くらいを公民館の館長さんが選んで、赤十字や消防の方に習って、訓練を何回か積み重ねて。

山川を美しくするために、お墓が納骨堂に移され、そこが荒れて幽霊屋敷みたいになりつつありますので、観光客を呼ぶのであれば、菜の花とかを植えてみてもいいと思います。外国から観光客を呼ぶためには、目玉になるものが必要だと思うので、地熱の恵みは今は凍結になっていますが、是非頑張って作っていただきたいと考えています。

<市長>

女性の力というのは大きいものがあります。避難場所に行き、お年寄りや身体の不自由な方もいるでしょう。山川モデルができないかなと考えています。第3回目の語る会でも言いました。山川が安心するためにはどうしたらいいか。その一つが庁舎であろうと考えます。

沖縄との交流、沖縄の琉球新報の社長さんがこうおっしゃいました。「来年みなと祭りがあるときには、うちの琉球舞踊をまわらせてほしい。琉球墓地のあたりで踊らせよう」明治 150 年西郷どんが放映をされます。沖縄琉球の人たちが踊るとそれもニュースになります。山川は歴史がある、歴史があると言っても、何か動かないといけません。

今言われたことは、持ち帰ってまた必ずお返しをしたいと思います。

【市民】

私は山川の人ではありませんが、山川に 10 何年住んでいます。今、指宿の商店街の一番奥に通訳案内所を作りました。指宿に来られる台湾や中国の観光客を案内できるように頑張っています。

子育てとしては、日本の教育と中国は違うところがたくさんあって、慣れないところもありますが、地域のみなさんに助けをもらいながら生活しています。

<市長>

中国からこっちで頑張って子育てをして、しかも駅前で観光客を誘致のために一生懸命頑張ってくださいね。これからも頑張ってくださいね。

【市民】

空き家対策について、移住者が民家に試験的に住んでもらって移住者を増やそうということをしていると思うのですが、地元の若い連中が家を借りて住みたいとの話があるんです。ところが実際、家の中に品物が入っている、トイレが水洗じゃないとのいう事情でなかなか借りないという現状なんです。

荷物の搬出、利用の推薦等について、そういうお金はないのでしょうか。

<総務部参与>

住宅リフォームという形で、移住者が住宅を借りるときの補助を出しています。

今、地域おこし協力隊という方がそういう関係の仕事をしています。家を借りたいが品物が入っているから借りられないような家を、地域おこし協力隊を入れて、どのようにしていくか研究したいと思っています。

【市民】

空き家の持ち主は、ほとんどがこちらに住んでいっしやなくて、そこまで費用を掛けたくないというようなところ。リフォームができたりとか、荷物の搬出ができる指導、補助があるのであれば貸してもいいという方が多分でてくると思います。

そういった補助を出すものについては、家賃等で回収できるんじゃないかなという気はしてるものですから、よろしくをお願いします。

<市長>

都会のシングルマザーに対して、補助を出す制度が色んなところにあります。ここでは、放課後児童クラブがあって、保育園も非常に入りやすい補助をする、家はここを貸しますよ、とかいろいろアイデアはあるでしょう。

今後、意見をください。

<産業振興部長>

住宅の方について、改修に上限7万円で補助をしています。また、お店を開設する場合等も補助があります。住宅の場合とお店の場合と両方あるということをご承知おきください。

【市民】

子どもクラブの開設で、山川校区から子どもが一人転出されるのを防いだのは大きい功績だと思います。

子どもクラブ、支援員、ボランティアの問題をクリアして盛り上がっていけばいいなと、そのためには私も力添えできたらいいなと思っています。

<市長>

地域づくりの核はここに人が何人集まるか、元気な人がどんな風に動くかだろうと思います。

その良い例がやねだんという地域です。元気のある人がいい意見で動くということ、それを山川でできるだろうと思っています。地熱をしたら変わります、雇用も生まれます、漁協も変わる、加工組合も変わる。凍結という決断でよかったのでしょうか、そういう思いがあるわけです。

開聞岳の麓が椿の里として高齢者がその椿の実を拾って、椿油を自分たちで工場を作って、それを売って地域づくりに役立てようとか、地域の個性を活かした地域づくり。自分たちで頑張って銭儲けを自分たちでしようという地域はこれから生き残れるだろうと思います。

漁協もこれまでの荷捌き場という範疇を超えて、観光客が食べに来る場所というユニークな発想がこれからは求められるでしょう。今までの考え方を傍らに置いて、こうしようという考え方があったら行政は一緒になって頑張りたいと思います。

【市民】

消防団員で、よそに住んでいる団員もいます。夢見がちな話ですが、消防団員が優先的に入れる市営住宅を作っていたらなと思います。市営住宅はありますけど、交通の便とか、町の中にそういうのを作っていたら消防団員も増えるんじゃないかなと思ったことがあります。

また、独身の消防団員がたくさんいます。テレビでお見合いパーティーをやっていたので、あれをぜひ誘致してもらって、消防団員のお見合いパーティーを開いてもらいたいと思います。

【市民】

地域女性連で、少子化対策ということでやっていて、今年は10年目になります。

8月6日に山川港を出発して、フェリーに乗って大隅へ行って、50人募集しておりますので是非ご参加ください。

<市長>

テレビのあれは面白いですね。努力してみましよう。

【市民】

市で設置した防犯カメラは何台あるんですか。

市で設置したところは何箇所ですか。

<総務部長>

市で設置した防犯カメラは1箇所ありません。

<市長>

港のところも必要かもしれないですね。

【市民】

農業高校生とか農業大学校生の研修を受け入れてくれないと言われるんですが、住み込みでやるのが一番いい体験実習にはなるんでしょうけど、なかなか家に飛び込みでの受入れができないので、どこかそういう形で生活する場所、屋敷とかがあればいいのですが。

<市長>

優れた農業経営をしている人もいらっしゃるが、やはり農家は後継者、青年就労、そういう人をどう増やすか、山川のこの豊かな大地がもっともっと豊かになるような。山川高校も農業大学校と今のその意見は確実にどうしたらいいか考えたいと思います。

たくさん意見をいただき、思いが痛いほど分かりました。

市長室は敷居を低くしていますので、意見があれば、是非、いろいろ話に来ていただければありがたいです。